



▲優勝旗を受けとる高山さん（写真右上左）と赤坂クラブのみなさん



村野球連盟総会

今年度優勝は赤坂クラブ

飯館村野球連盟の総会が1月31日、宿泊体験館きこりで行われ、平成14年度の優勝チームの赤坂クラブに優勝旗が渡されました。

現在同連盟は社会人野球12チームの加盟による

リーグ戦を行っており、今年度は中学生で構成する、いいいてジュニアチームを加え計13チームで試合を行ってきました。

各チームの代表34人が出席して行われた総会では、優勝チームの赤坂クラブキャプテンの高山晴美さんに中川喜昭連盟理事から優勝旗が手渡されました。

平成14年度村野球連盟順位▽優勝赤坂クラブ▽準優勝宮内野球クラブ▽同ファイターズ▽4位いいいてJA▽5位飯館村役場▽6位上飯樋野球クラブ▽同12区野球クラブ▽8位ファーマーズ▽9位NS野球クラブ▽10位宮仲ジャイアンツ▽同エンペラー▽12位飯館ジュニア▽13位関沢野球クラブ

こころのぽけっと

「子育てを ま・で・い・に」

この冬は例年になく亡くなる方が多かったようです。12月から3ヵ月間で32人です。村では、毎年亡くなられる方が約80人、そして生まれる方は50人です。したがって赤ちゃんは村にとってまさに「金の卵」です。

先日、3歳児のむし歯ゼロの子34人を表彰する機会がありました。そこでの親子連れの姿を見るにつけ、親にとって子供は宝でありましようが、村にとっても親以上の「宝物」という印象を強くしたところです。この宝物がはやく大人になってわが村を支えて欲しいものと思えば思うほど、健康で素直にスクスク育つて欲しいものと願わずにおれませんでした。そのせいか、ついついあいさつもお願い調になってし

まいりました。

それはこうです。

ある大学の調査によると「子供が自分の宝だと思うか」との親への質問に対し、アメリカは92%、トルコは79%が「はい」と答えたそうですが、日本は55%と低かったそうです。さらに、子供に対し「親を尊敬しているか」との質問では、アメリカ94%、トルコ87%に対し、日本はなんと40%だったそうです。そんな話をしながら「日本の親子は、親密さが希薄のようです。子供ともっと喜怒哀楽を共有してください。子供を育ててください」とのあいさつをしたところで

自分への反省を 大いに込めて。

平成15年2月26日

飯館村長 菅野 典雄